

2021年11月1日

第1回 日本糖尿病財団・サノフィ研究助成 2021年度 応募を開始

公益財団法人 日本糖尿病財団（東京都文京区、理事長：岩本安彦 以下「日本糖尿病財団」）とサノフィ株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：岩屋孝彦、以下「サノフィ」）は、共同企画である、第1回 日本糖尿病財団・サノフィ研究助成の募集を、11月1日より開始することをお知らせいたします。本プログラムには、サノフィが資金提供を行っています。

助成プログラムは、糖尿病研究のより一層の発展に貢献することを目的に設立されました。助成対象となる課題は、「インスリンまたはインクレチンに関する基礎研究」です。

助成プログラムへの応募資格者は日本国内に在住する研究者であり、所属する施設の施設長からの推薦が必要です。応募期間は2021年11月1日から2022年1月11日(必着)まで、選考は日本糖尿病財団選考委員会が実施し、理事会により最終決定されます。研究課題1件につき150万円以内を助成します。助成プログラムへの詳しい応募方法および申請書の取得は、日本糖尿病財団のホームページにてご確認ください。[公益財団法人 日本糖尿病財団 \(j-df.or.jp\)](#)

以上

公益財団法人 日本糖尿病財団について

日本糖尿病財団は、平成3年9月に設立された厚生労働省認可の財団法人です。その後、公益法人改革に伴い、行政庁(内閣府)より公益財団法人の認可を得、平成25年4月1日に公益財団法人に移行しました。糖尿病に関する調査研究の実施及び助成、並びに糖尿病に関する正しい知識の普及・啓発活動の実施及び助成、糖尿病に関する国際交流活動の実施及び助成、糖尿病に関する印刷物の刊行など、さまざまな事業を行い、もって国民の健康の増進に寄与することを目的としています。

サノフィについて

サノフィは、健康上の課題に立ち向かう人々を支えます。私たちは、人々の健康にフォーカスしたグローバルなバイオ医薬品企業として、ワクチンで人々を守り、革新的な医薬品で痛みや苦しみを和らげます。希少疾患をもつ少数の人々から、慢性疾患をもつ何百万もの人々まで、寄り添い支え続けます。

サノフィでは、100カ国において10万人以上の社員が、革新的な医学研究に基づいたヘルスケア・ソリューションの創出に、世界中で取り組んでいます。

日本法人であるサノフィ株式会社の詳細は、<http://www.sanofi.co.jp>をご参照ください。